

高等学校 芸術(書道) 実技試験問題

I
次の(1)～(4)の古典をそれぞれの指示に従い、臨書せよ。

(1) 雁塔聖教序(指示…半紙を縦に使い、毛筆を用いること。)

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅰ
澤田雅弘ほか11名 教育図書
56ページ 雁塔聖教序

(2) 喪乱帖(指示…半紙を縦に使い、毛筆を用いること。)

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅲ
澤田雅弘ほか11名 教育図書
23ページ 喪乱帖

(3) 乙瑛碑(指示…半紙を縦に使い、毛筆を用いること。)

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書道芸術Ⅱ
塚本宏ほか9名 中教出版
15ページ右 乙瑛碑

(4) 高野切古今和歌集第一種（指示…改良半紙を縦に使い、毛筆を用いること。）

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：書Ⅱ

澤田雅弘ほか11名 教育図書

101ページ 高野切古今和歌集第一種

2

次の(1)～(3)に答えよ。

(1) 次の□の中の語句を、次に示す条件を満たすよう揮毫せよ。

〈条件〉

- ・半切用紙を縦に使うこと。
- ・書体は行草に限る。
- ・落款は「青澄書」とすること。

黄花香淡秋光老 落葉聲多夜氣清

(張棟)

(2) 次の□の中の和歌を、仮名の書の作品として、次に示す条件を満たすよう揮毫せよ。

〈条件〉

- ・仮名の書の特色を生かして創造的に表現すること。
- ・漢字・仮名の変更、変体仮名の使用は自由とする。
- ・改良半紙を縦に使い、落款印の代わりに「○」を墨書すること。

東風吹かば匂ひをこせよ梅の花
あるじなしとて春を忘るな

(『拾遺和歌集』より)

(3) 次の□の中の語句を、示範作品として、次に示す条件を満たすよう揮毫せよ。

〈条件〉

- ・漢字・仮名遣いは□の中の文のままとし、半裁を使い、縦書きとする。書体、行送りは自由とする。
- ・落款印の代わりに「○」を墨書すること。

為せば成る
為さねば成らぬ何事も

(上杉鷹山の言葉より)

3

次の(1)、(2)に答えよ。

- (1) 次の□の文をボールペン（消えるボールペンの使用は不可）で丁寧に体裁よく書け。漢字は楷書または行書とし、仮名は連綿させないこと。また、漢字・仮名遣いは□の中の文のままとし、行送りは自由とする。A4判用紙を横長に使い、縦書きとする。

親譲りの無鉄砲で子供の時から損ばかりしている。

小学校にいる時分学校の二階から飛び降りて一週間

ほど腰を抜かしたことがある。

- (2) 次の□の中の語句を卒業証書として丁寧に体裁よく毛筆で書け。賞状用紙を縦長に使い、横書きとする。行送りは自由とする。

卒業証書

本田 大輔

平成19年6月5日生

あなたは本校普通科の所定の
課程を修了したことを証します

令和8年3月24日

大阪府立難波高等学校

校長 谷川 優介

